

平成27年度 岩手県国有林関係市町村長連絡協議会の開催について

さる6月3日午前10時30分より、サンセール盛岡において「岩手県国有林関係市町村長協議会」を開催しました。

当会議は、岩手県内における地域社会と国有林野事業の連携強化を図り、地域の社会経済の発展と国有林野事業の円滑な遂行に資することとしており、今回で12回目となります。

参加者は、岩手県内市町村長等19名（代表世話人・一戸町長）、岩手県農林水産部林務担当技監ほか1名、東北森林管理局・岩手県内森林管理（支）署22名で開催し、各機関からの情報提供及び意見交換を行いました。

県、及び国有林からの情報提供の概要は次の通りです。



○岩手県

- ・放射性物質の影響を受けた原木しいたけの山地再生
- ・地域の木材を活用する加工体制等の再生
- ・林業の未来を拓く経営体の育成
- ・消費者から信頼される「食料・木材供給基地」の確立
- ・農林水産物の高付加価値化と販路の拡大
- ・「いわて」の魅力あふれる農山漁村の確率
- ・環境保全対策と環境ビジネスの推進



○東北森林管理局・署

- ・これからの森林・林業について
- ・公共建築物等における木材利用の促進について
- ・ニホンジカによる森林被害対策
- ・市町村職員等の研修への受け入れ
- ・海岸防災林造成
- ・低コスト間伐
- ・民有林と連携した森林整備
- ・治山対策の推進

（稲葉一戸町長（代表世話人）挨拶）

その後の意見交換において各市町村から出された要望等の概要は次の通りです。

○各市町村

- ・伐採跡地の再造林対策
- ・ブナ林の保全
- ・25年8月豪雨の災害復旧
- ・きのこ原木の安定供給
- ・マツ枯、ナラ枯対策について
- ・国有林との森林施業の連携
- ・ニホンジカ対策
- ・バイオマス関連の協力
- ・森林施業技術の支援



（飛山東北森林管理局長挨拶）

短時間ではありましたが、率直な意見交換が行われ、大変有意義な会合となりました。

